

豚熱発生防止のため養豚場への消石灰配付について

県内での野生イノシシ陽性事例の発見地域が拡大しており、県内養豚場での発生リスクは非常に高い状況であることを受け、養豚場での発生防止を図るため、農場消毒のための消石灰の配付を、次のとおり実施します。

1 経緯

- (1) 豚熱の発生は、平成30年9月に岐阜県において26年ぶりに発生して以来、現在93事例の発生が確認されています。本県では、令和3年8月6日にワクチン接種地域に指定され、同年9月から県内飼養豚へのワクチン接種を実施しています。
- (2) 野生イノシシの感染確認状況検査において、令和5年1月4日に発見された死亡野生イノシシで、豚熱陽性が初めて確認されて以来、令和6年11月1日時点で、52頭の陽性が確認され、発見地域も県内全域に拡大しています。
- (3) このような状況から、県内養豚場への豚熱ウイルス侵入リスク非常に高い状況が続いているため、発生予防対策として、香川県農業協同組合と連携・協力し、全養豚場への消石灰配付を実施します。

2 実施の概要

- (1) 配付開始：令和6年11月5日（火曜日）午後から
- (2) 対象農場：県内養豚場 25農場
- (3) 配付方法：農場最寄りのJA香川県ふれあいセンターにて配付
- (4) 消毒方法：農場敷地外縁部、豚舎周囲の消石灰散布
- (5) 配付量：消石灰 621袋（20kg/袋）

3 その他

疾病のまん延を引き起こすおそれがあることから、県内の農場や関係施設への立ち入りは、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。

（裏面あり）

※11月5日(火)13時頃、JA香川県ふれあいセンター四国大川店（香川県さぬき市寒川町石田西1527）にて県内養豚場への消石灰配付の取材対応を行います。取材を希望する社については、当日、12時45分までにふれあいセンター四国大川店駐車場に集合してください。駐車場所が変更になる場合がありますので、現地の県畜産課職員の指示に従って駐車してください。



国土地理院地図を加工して作成